

第1回「こみてっく！」AI 規制規約

「こみてっく！」準備会(以下「準備会」)は、第1回「こみてっく！」(以下「本即売会」)にて、画像・動画生成 AI を用いた作品の頒布・展示等について以下の通り規制を行います。本規約は、社会状況、運用事例の蓄積、準備会の人的・技術的リソース等に応じて、次年度以降変更される可能性があります。

1. (本規制の理念)

以下の規制は、2026 年時点において、本即売会における自由な表現の保障と、本即売会を取り巻く創作コミュニティの双方を尊重し、参加者どうしが健全な交流を行うために定められています。

2. (定義)

(ア) 画像・動画生成 AI

本規約における「画像・動画生成 AI」とは、txt2img、img2img、txt2vid、img2vid その他これらに類する機械学習技術を用いて、新たに画像又は動画を生成し、又は既存の画像又は動画の主要な表現を変換する技術を指します。

(イ) 補助的处理

単なる解像度補完、ノイズ除去、色調補正、トリミングその他これらに類する補助的处理であって、作品の主要な視覚表現を新たに生成しないものは、「補助的处理」とし原則として本規約における画像・動画生成 AI 利用に含めません。

ただし、当該処理が実質的に新たな表現生成に当たると準備会が判断した場合は、この限りではありません。

(ウ) AI 軽微利用作品

「AI 軽微利用作品」とは、画像・動画生成 AI による生成物が表紙、挿絵、カット、背景、装飾、アイコン等の一部に用いられているものの、当該生成物自体が頒布物の主たる商品価値を構成しない作品を指します。

(エ) AI 主体利用作品

「AI 主体利用作品」とは、画像・動画生成 AI による生成物が頒布物の主たる内容又は主要な商品価値を構成する作品を指します。AI 画集、AI イラスト本、CG 集、ポスター集その他これらに類するものを含みます。

(オ) 外部コンテンツ

「外部コンテンツ」とは、冊子、ポスター、展示物、無償配布物、特典その他本即売会において提示されるものから、QRコード、URL その他の方法により直接誘導される外部の Web ページ、投稿ページ、ダウンロードページその他これらに類するものを指します。

(カ) 特定対象依拠型学習物

「特定対象依拠型学習物」とは、特定の作品、キャラクター、ブランド、公式ビジュアル、作者、実在人物その他これらに類する対象の再現、模倣又は識別的特徴の利用を主目的として作成され、又はそのような用途で提供されている checkpoint、LoRA、textual inversion、ControlNet 用参照素材、追加学習物、補助技術その他これらに類するものを指します。十分に一般的なキャラクターの特徴やジャンル、時代、流派、技法その他これらに類する対象の再現を主目的とする場合は、本項の対象外とします。

3. (適用範囲)

(ア)

本規約は、本即売会において頒布、展示、配布又は掲示される冊子、画像、ポスター、無償配布物、特典、お品書き、会場掲示物その他これらに類するものに適用します。

(イ)

前項のほか、前項に掲げるものから直接誘導される外部コンテンツであって、当該頒布物等の全文、全画像、続き、差分、特典、補遺その他当該頒布物等の内容の一部として機能するものについても、本規約を適用します。

(ウ)

出展者又は執筆者の一般的な SNS アカウント、投稿サイト上の作品一覧、プロフィールページ、ポートフォリオその他これらに類する通常の活動先それ自体については、当該頒布物等の内容の一部として機能しない限り、本規約の適用対象としません。

4. (準備会による審査・確認の基本方針)

(ア)

準備会は提出資料に基づき、個別に画像・動画生成 AI 利用作品の頒布、展示、配布又は掲示の可否を判断します。

(イ)

準備会は、必要に応じて、条件付許諾、修正要請又は一部差し替え要請を行うことができます。

(ウ)

準備会は、可能な限り複数名の担当者により審査又は違反認定を行うよう努めます。

5. (禁止行為)

本即売会では、画像・動画生成 AI に関し、以下の行為を禁止します。

(ア)

自らが著作権その他の権利を有しない既存の特定の作品、キャラクター、ブランド、公式ビジュアル、および自身ではない特定の作者の画風に依拠した AI 生成物を作成し、又は利用すること。

(イ)

前項に掲げる対象を、一般参加者が想起し得る程度に識別可能な AI 生成物を作成し、又は利用すること。

(ウ)

実在人物又は著名人について、その肖像、容姿、声、氏名、所属、肩書その他本人を識別し得る情報を用いて、当該人物本人である又は本人が関与・承認していると誤認され得る AI 生成物を、本人の明確な同意なく作成し、又は利用すること。

(エ)

第三者が著作権、肖像権その他の権利を有する画像、動画その他の素材を、当該権利者の許諾その他正当な利用権限なく、img2img、inpaint、ControlNet、reference、追加学習、生成 AI への画像入力その他これらに類する用途で利用すること。

ただし、自ら撮影又は制作した素材、権利者から利用許諾を得た素材、利用条件に従って使用するフリー素材、パブリックドメイン素材その他準備会が適法又は適切な利用権限があると判断した素材については、この限りではありません。人物が識別可能な画像又は動画を利用する場合は、著作権その他の権利関係に加え、本人の肖像、名誉、信用及びプライバシーを不当に侵害しないことを要します。

(オ)

特定対象依拠型学習物を利用し、又は本即売会において展示、頒布、配布、掲示すること。
また、第三者の画像、動画その他の素材を正当な利用権限なく用いて作成されたことが合理的に疑われる追加学習物等についても、準備会が不適切と判断した場合は、その利用、展示、頒布、配布、掲示又は紹介を認めないことがあります。

(カ)

AI 利用の有無、利用態様、使用素材、制作工程、提出資料その他審査に関わる事項について、虚偽の申告を行うこと。

(キ)

準備会の確認を受けた後に、審査結果に影響し得る主要な画像、動画、外部コンテンツその他これらに類するものを無断で差し替え、追加し、又は削除すること。

(ク)

前各号のほか、準備会が本規約の趣旨に照らし不適切と判断する AI 生成物を、頒布、展示、配布又は掲示に用いること。

(ケ)

制作の全部又は一部を第三者に委託し、又は第三者から提供を受けた場合であっても、当該頒布物についての説明責任は出展者が負うものとします。

6. (禁止行為の判断基準)

第 5 条(ア)～(ウ)の判断にあたっては、準備会は、色彩、髪型、衣装、シルエット、小物、構図、設定その他識別的特徴の組合せを事例に応じて総合考慮します。特定対象依拠型学習物に該当するか否かは、名称、説明文、配布ページ、作例、学習元表示、タグ、典型的な出力結果、通常想定される用途その他出展者が通常確認し得る外形的事情に基づき判断します。

7. (画像・動画生成 AI 利用作品の申告・利用程度の判定)

(ア)

画像・動画生成 AI の生成物を含む作品を頒布、展示、配布又は掲示しようとする出展者は、出展申込時又は遅くとも当該利用が判明した時点、かつ開催日の 40 日前までに準備会に対し画像・動画生成 AI 利用の有無、およびその想定形態を申告しなければなりません。

(イ)

準備会は(ア)で提出された情報に基づき、35 日前までに当該作品が AI 軽微利用作品、および AI 主体利用作品のいずれにあたるか判定します。

(ウ)

当該作品が AI 軽微利用作品又は AI 主体利用作品のいずれに当たるか不明な場合、準備会は出展者に説明又は追加資料の提出を求めることができます。説明又は資料が不十分であり、

頒布物の主要な商品価値に画像・動画生成 AI 生成物が関与すると判断される場合、準備会は AI 主体利用作品として取り扱うことができます。

8. (記録の保存・提出の義務)

(ア)

出展者は、画像・動画生成 AI を用いる場合、使用した主要な生成条件、制作工程、参照素材その他準備会が確認に必要とする情報について、可能な限り記録し、開催終了時まで保存するものとします。

(イ)

前項の情報は、使用したモデル、追加学習物、prompt、negative prompt、img2img 又は inpaint の有無、ControlNet、ワークフローその他補助技術の利用状況、参照素材の出所、生成時のスクリーンショット、対話型 AI との会話履歴その他、禁止行為の確認に十分と準備会が判断するものを指します。ただし、これらは生成方法等の個別事情を勘案し、一律の記録・保存を求めるものではありません。

(ウ)

準備会が必要と認める場合、出展者は各項の情報をその生成方法において取得し得る範囲、かつ当該画像・動画生成 AI 生成物の制作過程を確認するために必要な範囲で提示しなければなりません。

9. (AI 軽微利用作品の事前確認)

(ア)

AI 軽微利用作品を頒布、展示、配布又は掲示しようとする出展者は、開催日の 14 日前までに、以下の事項を準備会に提出しなければなりません。

- 頒布物等の概要
- 画像・動画生成 AI 利用箇所の説明
- 代表サンプル 1 点以上
- 制作工程の概要
- 参照素材を用いた場合、その出所及び利用権限の説明

(イ)

AI 軽微利用作品のうち、表紙、裏表紙、お品書き掲載画像、ポスター、会場掲示物その他これらに類する部分に画像・動画生成 AI 生成物を用いる場合、これを代表サンプルに含めて提出しなければなりません。

(ウ)

準備会は、必要があると認める場合、AI 軽微利用作品についても追加資料の提出を求め、又は AI 主体利用作品と同様の審査を行うことができます。その場合、準備会が改めて指定した締め切りに基づき審査を行います。

10. (AI 主体利用作品の事前審査)

(ア) 第 1 段階審査

AI 主体利用作品を頒布、展示、配布又は掲示しようとする出展者は、開催日の 30 日前までに、以下の事項を準備会に提出しなければなりません。

- 頒布物等の概要
- 代表サンプル 3 点
- 使用した主要ツール、モデル、追加学習物その他これらに類するものの説明
- 主要な生成要件
- 参照素材を用いた場合、その出所及び利用権限の説明
- その他準備会が指定する主要な生成条件の説明

(イ) 主要な生成条件

前項の主要な生成条件には、合理的な範囲で、prompt、negative prompt、img2img 又は inpaint の有無、ControlNet その他補助技術の利用状況を含みます。

(ウ) 第 2 段階審査

出展者は、開催日の 14 日前までに、印刷入稿、配布、展示又は公開を予定する最終版データを準備会に提出しなければなりません。

最終版データには、必要に応じて、本文、表紙、口絵、特典、会場掲示物、お品書き掲載画像、及び本規約の適用対象となる外部コンテンツを含みます。

(エ)

代表サンプルは、頒布物全体の表現傾向を適切に示すものとし、表紙、主要な作風、主要な題材又は主要なキャラクターデザインを含むよう努めるものとします。

(オ)

準備会は、収録点数、画風又は題材の多様性、既存作品等との類似に関する疑義その他の事情に照らし必要があると認めるときは、前各項の提出に加え、相当数のサンプル又は資料の提出を求めることができます。

11. (追加資料の提出)

(ア)

準備会は、審査、疑義確認のため必要があると認める場合、出展者に対し、以下の追加資料の提出を求めることができます。

- 使用素材の出所説明
- 参照素材の利用権限を示す資料
- その他準備会が必要と認める資料

(イ)

生成 AI の性質上、提出資料に基づき同一又は近似の結果を完全に再現できないことのみをもって、直ちに違反の根拠とはしません。

(ウ)

出展者が正当な理由なく資料の提出又は説明を拒否した場合、準備会は当該作品の頒布、展示、配布又は掲示を認めないことができます。

12. (確認の効力及び変更)

(ア)

準備会による事前確認又は事前審査は、提出されたサンプル、最終版データ及び説明に対応する範囲に限って効力を有します。

(イ)

30 日前までに提出された資料と 14 日前までに提出された資料との間に、主要な表現傾向、題材、利用手法その他審査結果に影響し得る変更がある場合、出展者はその内容を説明しなければなりません。

(ウ)

AI 主体利用作品について、開催日の 14 日前以降に、画像又は動画の差し替え、追加、削除、構図変更、色彩変更、題材変更、使用モデル又は追加学習物の変更その他審査結果に影響し得る変更を行う場合は、準備会の再確認を要します。

(エ)

AI 軽微利用作品について、開催日の 14 日前以降に AI 生成物を差し替え、追加し、又は変更する場合であっても、当該変更が頒布物等の主要な表現傾向、商品価値、宣伝価値、鑑賞対象性、既存作品等との類似性、実在人物との関係、使用素材の権利関係その他確認結果に影響しない範囲にとどまるときは、準備会の再確認を要しません。

ただし、当該変更が確認結果に影響し得ると準備会が判断した場合、準備会は説明、再確認、修正又は差し替えを求めることができます。

13. (外部コンテンツ及び QR コード等の取扱い)

(ア)

QR コード、URL その他の方法により外部コンテンツへ誘導する場合、当該外部コンテンツが第 3 条第 2 項に該当するときは、開催日の 14 日前までに、準備会が確認可能な状態で提出しなければなりません。

(イ)

準備会の確認後、開催終了時まで、当該外部コンテンツの主要部分を無断で差し替え、追加し、又は削除してはなりません。

(ウ)

外部コンテンツが一般的な SNS アカウント又は投稿サイト上に存在する場合であっても、当該頒布物等の内容の主要部分、追加部分又は購入者向け特典として案内されることが明らかであるときは、本規約の適用対象とします。

14. (疑義の申立て)

(ア)

画像・動画 AI 利用作品に関する本規約違反の疑義の申立ては、具体的な対象作品及び疑義の理由を示して行うものとします。

(イ)

匿名の SNS 投稿その他具体性を欠く指摘のみをもって、直ちに違反認定の根拠とはしません。

15. (提出資料の取扱い)

(ア)

準備会は、第 7 条又は第 10 条に基づき提出又は提示を求められる情報を、審査、疑義確認及び運営上の知見蓄積の目的以外に使用しません。

(イ)

(ア)に定める情報にアクセスできる者は、準備会の審査担当者に限ります。

(ウ)

(ア)に定める情報は、開催終了後3か月以内に削除します。ただし、紛争対応その他正当な理由がある場合は、この限りではありません。また提出資料そのものは削除し、個別の出展者、作品、素材又は制作過程を識別できない形に抽象化又は統計化した情報に限り、運用改善のため内部利用することがあります。

(エ)

第7条又は第10条に基づき提出又は提示を求められる情報に、個人情報、未公開情報、営業上又は創作上の秘密、第三者との私的なやり取りその他提出に適さない情報が含まれる場合、出展者は、準備会に対しその旨を説明したうえで、当該情報の全部又は一部を伏せた資料、制作過程の要約、審査担当者限りの閲覧、画面共有による確認、第三者による確認書その他準備会が相当と認める代替方法によって説明することができます。ただし、当該情報が本規約違反の有無を判断するうえで重要であり、代替的な方法によっても確認が困難である場合、準備会は、当該作品の頒布、展示、配布又は掲示を認めないことがあります。

16. (違反時の措置)

本規約の違反の程度に応じ、準備会は出展者に対し、以下の措置の全部又は一部を講ずることができます。

- 修正又は説明の要請
- 当該作品の頒布、展示、配布又は掲示の停止
- 当日の出展停止
- 次回以降の本即売会への参加制限又は禁止

17. (相談)

自身の創作物がどのような規制対象となるか不明瞭である場合や、本規約の適用により非合理的な不利益を被るおそれがある場合は、ぜひ事前に準備会にご相談ください。できる限り事例ベースで柔軟に対応します。

制定 2026年7月16日

運用上の参考例示

※以下は説明用の例示であり、これに限られません。

※以下に挙げる例に当てはまらない場合でも、準備会はルール趣旨に照らして個別に判断します。

※「許容され得る例」に当てはまる場合でも、既存作品や実在人物への依拠性が強いと準備会が判断したときは、個別に確認又は修正をお願いすることがあります。

1. 原則として禁止される例

- 自らが著作権その他の権利を有しない既存の特定の作品、キャラクター、ブランド、公式ビジュアル、または自身ではない特定の作者の画風への依拠を前提とした AI 生成画像
- 例：hatsune_miku、ZUN、idol_master、ghibliify、Gogh_(style)、official_art 等のタグや指示の使用
- 既存キャラクターを一般参加者が容易に想起し得る程度に再現した AI 生成画像
 - 例：既存キャラクターの色変え、特徴の一部だけを外したもの（耳なしウマ娘等）。ただし極力事例ベースで判定します。
- 著名人や実在人物の写真を用いたディープフェイク
- 権限のない第三者画像を ControlNet、i2i、reference 等に用いたもの
- 特定の既存作品・キャラクター・作者等の再現を主目的とする LoRA 等を用いたもの
- 「続きはこちら」「差分はこちら」「高解像度版はこちら」等として、規制対象となる外部コンテンツへ誘導するもの

2. 原則として許容され得る例

- ChatGPT Images、Nanobanana、Novel AI 等一般的な基盤モデルの使用
- 一般的なキャラクターの特徴やジャンル、時代、流派、技法名を用いた生成
 - 例：long_hair、1990s_(style)、art_nouveau 等のタグ使用
- ネガティブプロンプトとして、既存作品・作者・ブランド・公式ビジュアルの生成を避けるためのタグの使用
- 一般的な法則名等を用いた
- 既存創作物であるが、自身の創作物に依拠した生成
- 既存 IP や実在人物に依拠しないオリジナル表紙
- 抽象背景、風景、装飾カット
- 権利処理済み素材のみを用いたオリジナル挿絵
- 執筆者又は出展者の一般的な SNS、pixiv、ポートフォリオ等への案内